Ⅰ 国語

学校番号	211

令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2	年次	2
使用教科書	「新編現代文B 改訂版」（東京書籍）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）、常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） キーワード漢字2700（浜島書店）						

Ⅰ 担当者からのメッセージ

・2年生では国語の基礎力を確かなものとし、国語力を豊かにすることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、円滑なコミュニケーションに必要な「話す・聞く能力」や正確に意思を伝えるのに必要な「書く能力」を身に付けることを意識してください。
・評論文では、筆者の主張を正しく読み解くために、語彙力を身につけるように心がけましょう。
・小説では、有名な作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として語句調べをしたり本文を読んだりしておきましょう。また、授業後には、内容を復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
・文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。
・自分自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	「心、言葉、きずな」	○		○	◎	○	a:随筆の文章について作者の意図を的確にとらえる。 d、e：アイとの交流を通して、筆者が考える「人間に必要なもの」が理解している。 c:題名のキーワードのつながりについて自分の考えを書く。	a：行動の観察 c：記述の確認 d、e：定期考査
	随想	さくらさくらさくら	○		○	◎	○	a:随筆の文章について作者の意図を的確にとらえる。 d:「さくら」に対する日本と外国のとらえ方の違いを理解している。 c:桜について各自の感想を話し合う。 d、e:筆者の詠んだ短歌を鑑賞し、その気持ちを理解している。	a:行動の観察及びワーク c：記述の確認 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	ナイン	○	○		◎	○	a:短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。 d、e:登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 d：作品中の時間の経過を理解している。 b、e:小説を自己の問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。	a：行動の観察 b、d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
2学期	評論	「ふしぎ」ということ	○		○	◎	○	a:評論の文章において、論の展開、論拠、要旨を的確に捉える。 d、e：ニュートンや釈迦牟尼のとらえ方を理解している。 d：「物語」の意味を理解している。 d、e ：「自然科学」と「物語」の違いを理解している。 c：筆者の意見を理解し、自分の意見を書いている。	a、c：行動の観察 d、e：記述の確認及び定期考査
	詩歌	I was born	○	○		◎	○	a:詩全体の印象をとらえる。 d:散文詩の特徴を理解し、この詩の中で気づいたことを挙げる。 d、e：「僕」の発見は何か理解している。 d、e：「父」がなぜ蜉蝣の話をしたのか理解している。 b：「命」について自分なりの思いを書ける。	a:行動の観察及び記述の点検 b:ノート等 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

	小説	山椒魚	○		○	◎	○	a：文章表現の特徴について理解している。 d、e:山椒魚の「悲しみ」の理由を把握している。 d、e：岩屋の内外の様子や山椒魚の心情を理解している。 d、e：小えびの侵入による山椒魚の心境の変化を理解している。 d：山椒魚と蛙の関係性を時系列で理解している。 c：作品の主題を、自己の問題に落とし込んで考えを深める。	a:行動の観察 c:記述の確認 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
3学期	小説	こころ	○	○		◎	○	a:作者について興味を持つ。 b:人間のあり方について問題意識を深め、登場人物の生き方について話し合う。 d:登場人物の性格をつかんでいる。 d：様々な場面において、「私」の行動のきっかけが何かを理解している。 d：「私」の中のエゴイズムをとらえている。 c：登場人物の生き方について自分の考えを書く。 e:当時の文化や習俗にも触れ、背景知識を学ぶ。	a、b：行動の観察及び記述の点検 c、d、e:記述の確認と分析及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。